

# 天皇・皇后両陛下ご来県



集まった皆さんに手を振って応える天皇・皇后両陛下



常葉行政局駐車場で両陛下をお迎える皆さん

天皇・皇后両陛下が10月13日、来県し、常葉行政局に立ち寄られました。

両陛下の御訪問は、東京電力福島第一原発事故により全村避難していた川内村での除染作業視察が目的で、行きと帰りの2回、常葉行政局で御休憩されました。

両陛下の常葉行政局到着は、午前11時39分頃と午後5時4分頃の2回。

白バイに護衛された車が駐車場に入ると、陛下は窓を開け、出迎えに集まった大勢の市民などの声援に笑顔で手を振って応えられました。

玄関前では富塚市長が出迎え、御休憩場所の行政局2階の正副議長室へ案内しました。

夕方の御休憩の際には、両陛下と富塚市長が約10分程度御懇談し、富塚市長が市の概要と原発事故により避難を余儀なくされているかたの状況、市民の健康管理、食品の安全・安心の確保などを説明しました。

両陛下が田村市を訪れたのは、皇太子・同妃時代の昭和36年6月1日に小名浜港で行われた第4回全国放魚祭に御出席されるため、磐越東線の特別列車で船引駅に30秒停車された時以来になります。

## 天皇・皇后両陛下

### 行政局到着から出発までの流れ



③窓を開け手を振る天皇陛下 ②両陛下の乗る車が着御 ①白バイを先頭に行政局入口へ  
④全員に手を振る両陛下 ⑤玄関でお出迎えの富塚市長 ⑥両陛下への敬礼 ⑦両陛下への自己紹介  
⑩沿道にも大勢のかたが集合 ⑩笑顔で手を振る皇后陛下 ⑨休憩後、車に乗る前の両陛下 ⑧行政局へのご案内



田村米調べるセンター内に配置された検査機器



敷地内には2棟の検査施設を設置

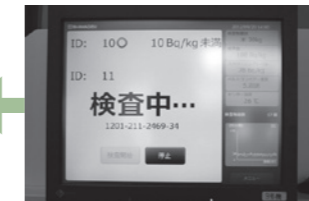
### 検査結果をホームページで確認できます

玄米の検査結果は、ふくしまの恵み安全対策協議会のホームページから随時、確認できます。

(アドレス)<http://fukumegu.org/ok/kome/>



約15秒で結果を表示



検査施設のスイッチを押す富塚市長

## 米全量全袋検査が9/20開始



収穫した米の放射性物質を検査する米全量全袋検査の施設稼働式が9月20日、船引町船引の旧たばこ試験場に設けられた「田村米調べるセンター」で行われました。

式では協議会長の富塚市長があいさつし、猪瀬議会議長、県中農林事務所長が祝辞を述べました。その後、富塚市長が機器のスイッチを押し、検査がスタートしました。

検査は、田村市と三春町、小野町とJAたむら、集荷業者などで構成する「たむらの恵み安全対策協議会」が行い、田村市に4基の検査機器を配置したほか、三春町に1基と小野町に2基を導入しました。

1袋(30kg)は15秒程度で測定でき、国の放射性物質の基準値1kgあたり100ベクレルを下回る25ベクレルを検出下限値に設定しています。

検査後は、機器を使って生産者情報などを確認するQRコードのラベルを袋に貼り付けます。

10月11日現在、市内の2万1,226袋を検査しましたが、25ベクレルを越えた米袋は検出されていません。

市内では検査対象を22万袋(1袋30kg)と想定し、年内の検査完了を目指しています。